



こぼと

千葉市立第二養護学校

「学校だより」

令和7年 6月16日
第 3 号

こぼと号の車窓から

教頭

第二養護学校の朝は早い――。

スクールバスの運行のために、運転員のみなさんは、車内外の清掃を行い、6時20分頃には、エンジン音が聞こえてきます。無事に発車できるように毎朝、運行前点検が行われています。

一番遠い、1号車の出発が6時30分台。続いて、2号車6時40分台の発車を正門で見送ります。残りの号車も順次学校を出発し、全部の号車が発車すると、「今日もによりの一日がスタートできる。」と少し安堵し、出発したバスが全号車学校に到着すると、その安堵の気持ちは増し、ようやく、「によりの一日」が始まります。

時折、私もバスに乗車することがあります。各バス停では、保護者の方々と短い時間ではありますが挨拶をかわすことができ、また手を振ってお見送りいただき、ささやかな関わりも大変嬉しく感じています。また、朝早くから支度を整えてバス停まで毎朝送り届けてくださる保護者のみなさまに、感謝の思いがこみ上げます。

さて、スクールバスは、号車ごとに方面が違うので、見える風景もまた違います。

市内の学校の前の通学路を通るときには、ちょうど小、中学生が登校しています。横断歩道ではセーフティーウォッチャーの方々が地域の子供たちを見守り、また本校のバスの通過も見守ってくださっています。

保護者、関係者の方がバス停以外の場所でも、バスを見て会釈をしてくださったり、手を振ってくださったりする場面に出会います。また、偶然バスと隣同士に停車した時に、隣の車の方が笑顔でこちら側を見て下さり、思わず目が合い、お互いににこり！朝から心が通いとても温かい気持ちになります。

街中では、通勤、通学中の多くの方を乗せた路線バスが走行する様子が目に映ります。本校の子供たちも、スクールバスでの乗車の経験を積み重ねて、いずれ社会に出た時には、路線バスのような公共交通機関で移動する機会もあるのだなと思いを馳せながら、車内での過ごし方や乗車マナーについての支援をしています。

先日、第一回目のスクールバス運営委員会が行われました。今年度から、Googleフォームを活用しての回答となり、PTAの学年理事のみなさんの集計作業等の負担軽減となったと伺いました。大変多くのご意見をいただき、ありがとうございました。感謝のお言葉もたくさんいただき、バス運行に関わるすべての職員の大きな励みとなっています。また、ご心配や確認が必要な事柄についての声も伺う機会となりましたので、対応を検討し、改善についての見直しを図っていけるようにしてまいります。詳しい内容については、後日配付いたしますスクールバス運営委員会の報告をご覧ください。

スクールバスは、「によりの生命線」です。バスが運行できなければ、第二養護学校の一日は、始まりません。遅延等でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、日々、安全・安心の運行ができるように、努めてまいりますので、今後とも保護者の皆様のご理解とご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

